



## リハビリテーション科の紹介

みどり病院リハビリテーション科には理学療法士16名、作業療法士14名、言語聴覚士2名の32名の職員がいます。リハビリテーションは脳卒中や骨折など、病気や怪我で生じた機能障害に対してその機能の回復を図るだけでなく、退院後その人らしい尊厳のある生活を送って頂くために多職種連携を行いつつながら生活支援を行っています。



文責：リハビリテーション科  
科長 足立 明彦

## みどり病院のリハビリテーションの特徴



当院は急性期病棟と回復期リハビリテーション病棟を併せ持つ機能をもっています。回復期リハビリテーション病棟に入院された患者様がリハビリテーションを行っていく中で、元々の疾患の再発や、体調を悪くされてしまった場合でも、転院ではなく可能な限り院内で治療を行います。その為、転院に伴う患者様・ご家族様の負担を軽減できるように体制を整えています。また安全にリハビリテーションを提供するために病棟専任の整形外科医、脳神経外科医、内科医が定期的な診療を行いながら、多職種と共にリハビリテーション計画を立てています。

## リハビリで最も意識しているのは退院後の生活

回復期リハビリテーション病棟に入院する患者様のリハビリは**1日2時間以上・365日**リハビリを提供しています。患者様が退院後、ご自宅で安心して生活できるように、入院中に患者様のご自宅に伺い自宅生活をイメージした上でリハビリをさせて頂いております。また退院後より質の高い生活の構築のために、介護保険等の利用を含めて、在宅部門との連携を定期的に行い退院支援しております。自宅への**復帰率は85.7%**（2020年2月現在）となっております。

